

福島第一原子力発電所

サブドレンピットNo.18、19における油分の確認について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 8 月 4 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

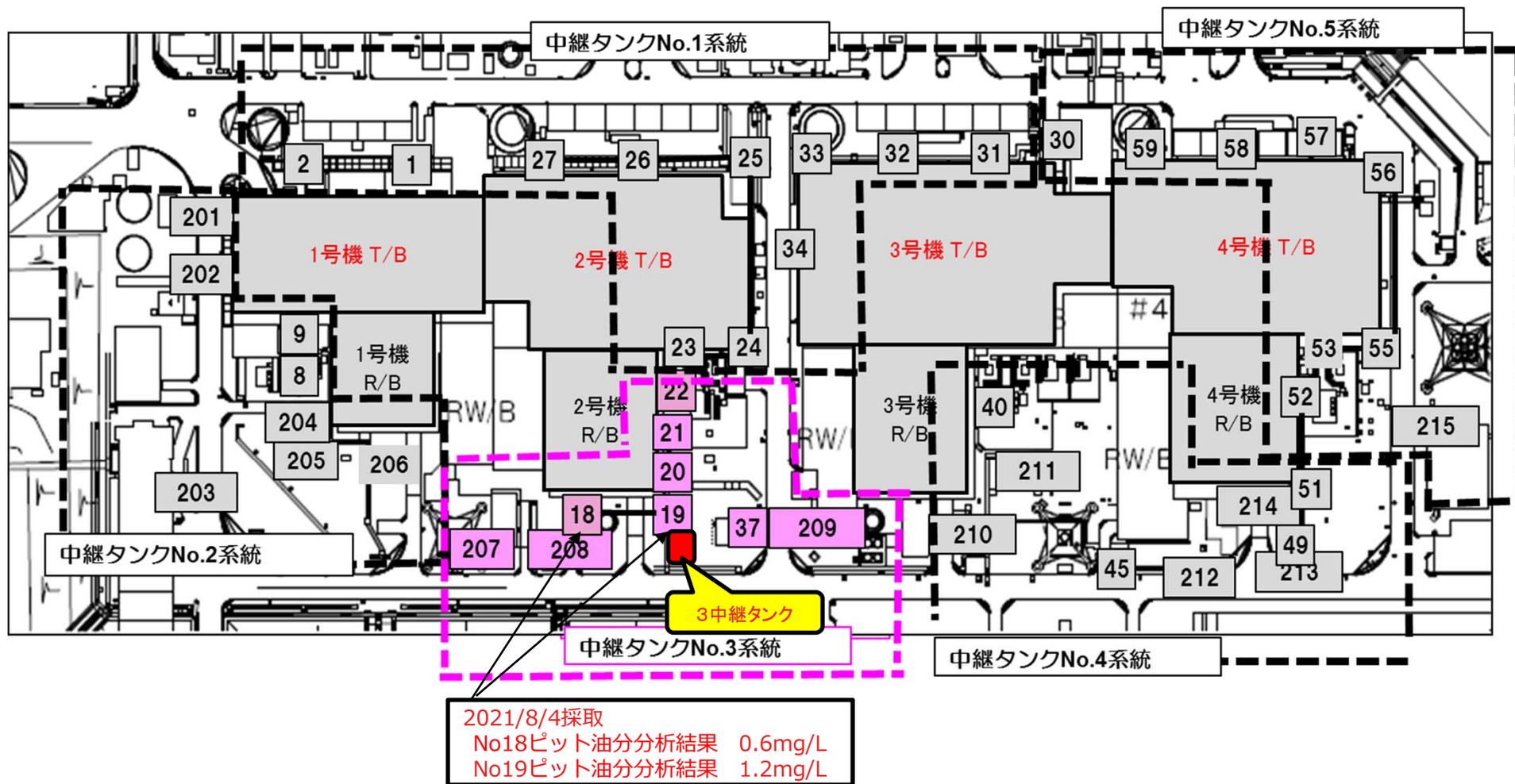
- 本日（8月4日）午前8時30分頃、2号機原子炉建屋西側にあるサブドレンピットNo.18、19のサンプリングを実施していた協力企業作業員が採取器に油らしき物が付着していることを確認しました。
- その後、当該サブドレンピットの油分分析したところ微量の油分が検出されました。
No.18ピット油分分析結果：0.6mg/L
No.19ピット油分分析結果：1.2mg/L
- また、当該ピットから汲み上げた水を集水しているサブドレン集水設備No.3中継タンク内を確認したところ、油らしき物およびにおいを確認しました。当該タンクの水を採取し、現在油分分析を実施しております。
- これらを踏まえ、当該サブドレンピット周辺の土壌に油が存在し、地下水に混入した可能性が否定できないことから、油が地下に浸透した場合に該当すると、午後3時30分に判断しました。
- なお、No.3中継タンクの下流側にあるサブドレンサンプルタンクにおいては、排水前に分析を行い異常がないことを確認したうえで排水を行っており、直近の排水時における油分分析結果は検出限界値未満（検出限界値0.1mg/L）であることを確認しております。
- また、サブドレンピットNo.18、19からの水の汲み上げを午前8時32分に停止させるとともに、No.3中継タンクから集水タンクへの水の移送を午前8時54分に停止しております。
- 今後、サブドレンピットNo.18、19周辺の他のピット内における油分の有無や原因の調査、および油分の詳細な分析を実施してまいります。

時系列

8月4日（水）

- 午前8時30分頃 2号機原子炉建屋西側のサブドレンピットNo.18、19のサンプリングを実施していた協力企業作業員がピット内に油分らしきものを確認
- 午前8時32分 サブドレンピットNo.18、19の汲み上げ停止
- 午前8時54分 サブドレンNo.3中継系統サブドレンピット停止
サブドレンNo.3中継タンクから集水タンクへの移送を停止
- 午後1時00分頃 サブドレンピットNo.18、19から油分が検出されたことを確認
No.18ピット油分分析結果：0.6mg/L
No.19ピット油分分析結果：1.2mg/L
- 午後3時30分 地下水に混入した可能性が否定できないことから、油が地下に浸透した場合に該当すると判断

<参考> No.3中継系統配置図および油分分析結果



<参考> 系統概要図

